



この学生の行動は、普通だったら見て見ぬ振りをするけど、捕まえようとした勇氣はすごいと思います。でも、危ないことに突っ込んで欲しくなかったです。世の中には、見て見ぬ振りをする人がたくさんいて、私もその中の一人だけど、この学年のように、正義感溢れる人が増えて欲しいです。

今まで嫌がらせを受けていた人がいても、見て見ぬ振りをしていただけれど、この授業をしてみて、今後、嫌がらせを受けている人を見たら、「いけない」と注意できるようにしていきたいです。

今までは、何かあっても見て見ぬ振りをしていたけど、今日の話聞いて、正義感を持って、その人を助けたりしようと思った。

この時間を振り返って、僕は、このような行為をした人を許せません。また、「最近はちょっとした暴力抑止力が低下している」と道徳の本にも書いてありましたが、このような正義感をなくさないように、自分だけでも気を付けたいと思いました。

正義感の強い人は近くに一人はいるけど、自分は、その人にはなれないと思う。今回の授業で、このようなことが自分の身に起きたのであれば、自分にできる人助けを考えて行動したいと思った。

いざ、自分がやられる側になったとき、「何でそんなことをするのか」と何も考えることができなくなります。でも、そんなときに一人でも支えになってくれたり、守ってくれる人がいたら、安心ができるので、私も相手を守れるような、『意志の強い人』になりたいです。

この事件から30年経っても何も変わっていないと思うから、自分たちの世代で何か変わると良いなと思いました。

僕はこの記事を読んで、投書のような嫌がらせがあっても助けないことなどは結構あるので、これからは誰かがいじめられたりしていたら、止めに行こうと思いました。

私は多分、目の前で何か起きてても、何かをしようという気にはならないと思うので、この学生はすごいと思った。私もこの学生のように、正義感を持てるようになりたいと思う。

私は今まで、見て見ぬ振りをしてしまったことがあったかもしれないです。でも、それは、した方は覚えていなくても、された方はしっかり覚えていると思います。だから、一人では無理でも、他の人に手伝ってもらって、見て見ぬ振りをなくしたいです。

僕は、この話を聞いて、もし、このような正義感を使うようなことが起きたとしたら、自分は助けるために、足を踏み出せないかもしれませんが、その他でも、その人の役に立てることをしていけたらなと思います。

私は中学校に入ってから、人間関係に困ったことはないけれど、いじめまで発展しないような嫌がらせはたくさんあるので、それを見て見ぬ振りをするのは良くないと思った。

自分は、いじめられている人を見て見ぬ振りをしてしまったことがあったから、そこには自分から止めに行き後悔しないようにしたい。

私は、小学1年生の時に、色々いじめにあったことがある。だから私は、見て見ぬ振りは何が起こっていたとしてもできない。自分は別に、止めたことでいじめられてもいい。けれど、もし、そこで止められなかったとしたら、絶対に後悔すると思う。後悔したくないから、自分を犠牲にしても相手を助けたい。

女子は、陰でその人、相手の愚痴を言うから、ケンカになったり、いじめになったりして、相手に言わないから揉め事が起きてしまいます。また、見て見ぬ振りをしたりしてしまう人がいるからいけないし、そもそも言わなかったらケンカにならないと思います。なので、私は、陰で言わない、そして、言われていたら、周りに相談してみようと思います。

僕は、人に自分の正直な気持ちを言うことがたくさんあります。なので、それをこれからも通していこうと思います。嫌なことを言われたら、それをすぐに「嫌」や「やめて」と言える人になっていきたいと思いました。

私は、見て見ぬ振りをしなかった学生みたいに、困っている人がいたら、正義感を持ち、見て見ぬ振りをせず、助けようと思いました。

私がこの時間で学んだことは、昔の日本は、誰もが助け合う世の中だったけど、今の私たちの世の中は、見て見ぬ振りをしたり、それを見て笑う人がいたり、とても変わってしまったということが分かりました。だから、そういうのが無く、誰もが助け合える世の中になって欲しいと思いました。